

# アグリコクーンと これからの農学生命科学研究科

機構長・研究科長  
會田勝美

魅力ある大学院教育」イニシアティブプログラム  
「産学連携型研究インキュベータ機構」の創設

取組み代表者	會田 研究科長
取組み実施担当者	責任者 妹尾 応用生命化学専攻長
	副責任者 森 応用動物科学専攻長
	副責任者 岩本 農業・資源経済学専攻長

JSPSヒアリング出席 會田研究科長・妹尾教授・中嶋助教授



「産学**官民**連携型**農学生命科学**研究インキュベータ機構」  
(愛称：アグリコクーン) の設置

機構長 會田研究科長、副機構長 妹尾教授、事務局長 中嶋助教授  
機構運営委員会の設置

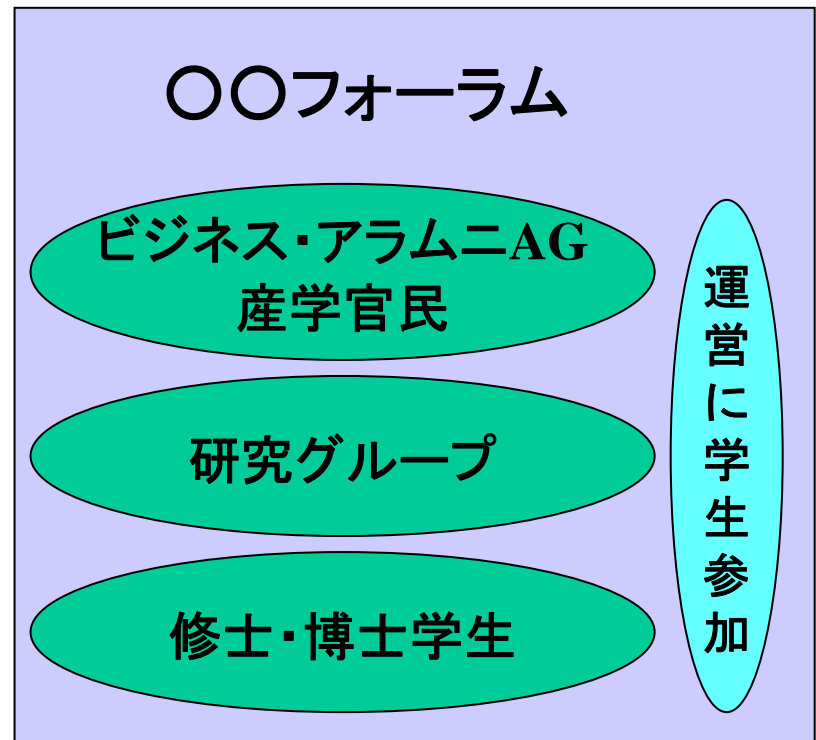
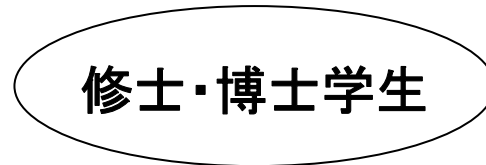
# 機構の構造

21世紀農学コロキウム+マネジメントコミッティ

(フォーラムの集合体) (機構運営委員会+農学部運営諮問会議委員)

## ・フォーラムの構造

従来の研究グループ



## \* 平成17年度先行フォーラム

食の安全・安心フォーラム      代表 生源寺教授

## \* 平成18年度以降

農学におけるバイオマス利用フォーラム      代表 横山教授

国際農業と文化フォーラム      代表 黒倉教授

生物多様性・生態系保全フォーラム      代表 鷺谷教授

### 他 募集中

- \* フォーラムを作らず従来の研究グループのままの活動も可
- \* 必要ならば研究科共通科目を設置してもよい
- \* 学生・PDのフォーラム運営への参加-----就職活動にも
- \* 予算では教室の視聴覚機材等の整備を中心に行いたい
- \* 拠点として産学官民連携室の設置

# これまでの、そしてこれからの学部と研究科

1874 創立

学部発展期

1956 8学科体制の確立

学部低迷期

1994 5課程制の導入

学部変革期

学部定員の充足

2004 国立大学法人化 (世界一の総合大学を目指す)

2006 3課程制の導入

学科制と課程制の長所導入

学部充実期となるか？

学部は生き残れるか？

1953 大学院設置

大学院発展期

1994 大学院重点化

大学院変革期

院生定員増・充足

2005 アグリコクーン発足

産学官民との連携拡大

大学院充実期となるか？

研究科は生き残れるか？